

丸普窯業原料 株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	採石業者の責務として心掛けているのは自然との共存です。近年SDGに向き合い、間伐材を薪、地層は造園表土と、従来では破棄や移設のみだった廃棄物も有効活用し資源と変えました。地域に根ざした活動として「小原観光景観発展会」といった地域・観光資源の再定義を行い、郷土を愛し次世代につなげる活動に邁進中です。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 12 , 15	新たな地域特産として、間伐したマツから松葉茶を開発、販売することにより、資源の有効活用に尽力する。	松葉茶の販売箇所を増やす 毎年15か所増加させる。 (2028年まで実施)
	社会 15 , 17	「小原観光景観発展会」を組織し、地域資源、観光資源の再定義を行い、郷土を愛し次世代につなげる活動行う。	・自然を守ることや景観について話し合う会議 1回/月 (2028年まで毎年実施)
環境 13 , 15	<ul style="list-style-type: none"> ・場内の植樹および植林（主に松） ・周辺地域の植樹および植林、間伐（四季桜）をしCO2削減に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松の植樹20本/年 ・四季桜の植樹10本/年 (2028年まで毎年実施)	